万年企業を目指して
中里表彰台 高い
管理センター ☎000-0109

新人県大会報告
（1位·2位編）
今後の予定

THE YUUOU MAISIN

勇往邁進

2026年（令和8年）
10月 9日 金曜日
Ver.109
発行所 さいたま市浦和区元町1丁目28番17号 ☎(048)886−2151

新人県大会報告

２種目の優勝を含め、７種目で関東選抜へ

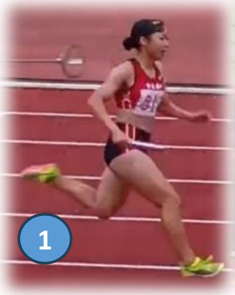
　１０月１日（木）から３日（土）に上尾運動公園陸上競技場で、新人県大会が開催された。今年は、他大会の関係で、県大会も上尾での開催となった。台風の接近に伴い、予定の変更や日程調整も考えられたが、予定通りに実施することが出来た。市高は、個人６種目とリレー１種目で関東選抜大会の出場権を獲得した。近年では、最高の出場権獲得数となり、チームとしても活躍が目立つ大会となった。特に、女子の４×１００ｍＲでは、見事に１位となり、チームとして掲げてきた、『復権』を印象づけた。さらに、奥澤は１年越しの大幅自己ベストでの走幅跳１位。２種目でのチャンピオンは立派だ。他にも、佐藤がやり投げで、こちらも大幅自己ベストで２位に。同じく、磯野も三段跳で２位と、当たり前だが２年生が活躍をした。１年生では、国スポ代表の牛王田が１５００ｍで３位、やはり自己ベストを更新しての出場権獲得。女４００ｍと男走幅跳を含めた７種目での関東選抜大会は、１０月２４日と２５日に、神奈川の日産スタジアムで開催される。

女400mR チーム力で、1位に！
関東選抜でもさらなる記録更新を。

　市高の歴史を紐解いてみても、400mRの県チャンピオンは、そう多くないはず。それだけ、埼玉県で勝つことは難しく、それをやってのけた選手は、とても立派だ。ラウンドが上がるごとに、バトンの精度も上がり、適応能力の高さを感じられた。また、伸びしろもあるので、関東選抜でもさらなる記録更新を期待したい。

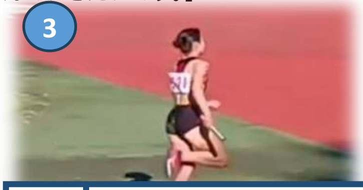
〇1走 金子(1)：「予選、準決勝では納得のいく走りはできませんでしたが、決勝に向けてカーブで膨らまないことや全体的にスピードを上げることを修正でき、また、課題である後半では力まず動きが固くならずに走れた感覚がありました。残りの期間でまずは走力を上げて、関東選抜では、自分の走りでチームが決勝で戦えるよう、少しでも貢献できる走りをしたいです。」

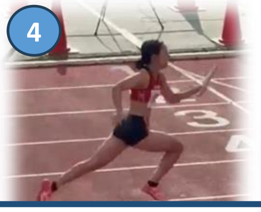
〇2走 岩本(1)：「地区大会に引き続き、2走を務めました。県大会では優勝することができましたが、バトンパスのところで課題が残り、タイムは納得できるものではなかったので、関東選抜ではバトンパスを改善させ、自分の走りをしっかりして、チームベストを出して決勝進出します。」



〇3走 奥澤(2)：「バトンパスや自分の走りには課題が残るものの、県大会の決勝で準決勝からきちんと改善し、それぞれやるべきことができた結果、優勝に繋げることができたと思います。関東でもしっかり戦えるよう、バトンパスも走りもギアを上げ、チームベストを出して決勝を目指します。」

〇4走 真瀬(1)：「当日のバトン練習も含め、今まで行ってきた練習を上手くまとめることができた試合になったと思います。課題としてきた右足からのスタートもなんとか形となり、自分の強みである前半の加速を活かした走りが準決勝、決勝共にできました。今大会は優勝という結果で終わることができましたが、タイム自体は目標に届かず、リレーの難しさを改めて感じることのできる大会となりました。関東選抜に向け、右足からのスタートを安定させることでバトンパスも今以上に安定させ、さらに上のラウンドでも結果を残せるよう、練習を積んでいきたいです。」





秋の主役だと信じてきた2人の活躍
女走幅跳1位 奥澤　男三段跳2位 磯野

　学総が終わり、秋の主役はこの2人だと信じてきました。その2人が、期待に応える競技をして、関東選抜の出場権獲得です。奥澤は、今シーズン、ずっと苦しんできて、1年越しの自己ベスト更新です。しかも大幅に。この記録が安定してくると、次のチャンスが出てきます。磯野も、自己ベストとはいきませんでしたが、1cm足らずなので、ほぼベストの跳躍をしました。2位にも関わらず、課題も多く、シーズンの終わりに、もう一度Big jumpをしてほしいです。

〇奥澤(2)：「この県大会には、とにかく自己ベストを出すことを目標に臨んだので、練習してきたことが形になり、約1年ぶりに自己ベストを更新して、優勝という形で次に繋げられたことはとても嬉しかったです。ただ、安定して今回の跳躍をできなければいけないし、まだまだ課題はあるので、関東選抜ではさらに成長した試合をできるよう、練習に励んでいきます。また今回の大会では、普段の練習ももちろん、メンタルの面でも、先生や親、トレ―ナーや仲間のサポートを改めて感じました。感謝の気持ちを忘れず、関東でも自信を持った跳躍をします。」

〇磯野(2)：「今回は結果だけ見れば悪くないが内容を見るとまだまだ物足りないという試合だったと思います。1本目の課題をまだ解決できずいい試合の流れをつくれなかったことが大きな反省点です。ただ6本目の跳躍でホップ、ステップ、ジャンプ全てで前に力を伝えられたいい跳躍ができたことは良かった点だと思います。自己ベストに近い記録を出せたものの1cm越えることができなかったことそして1位を取れなかったこの悔しさを忘れずに練習していきます。関東大会では1本目から14mを越える跳躍をし勝負してきます。そして表彰台に上ります。」

見事な、そしてちょっとびっくりな…
佐藤　やり投げ　2位！

　最終日に、佐藤がやり投げで2位に入りました。地区大会が終わってから、一気に投てき練習の技術にスポットを当てて練習をしてきた甲斐があるとともに、やはり、選手の気持ちが強かったのだと思います。 佐藤(2)：「今大会では関東選抜の出場権獲得を目標にし、大幅に自己ベストを更新して2位に入り、目標を達成できてよかったです。地区大会で思うように投げられず、県大会では試技順がずいぶん前になってしまいましたが、それを逆手に取り、1本目から後続にプレッシャーをかけられるような、結果的に3位圏内に入る記録を出すことができ、良い試合内容にできました。50mオーバーも多く揃えられ、安定感や再現性の面でも成長を感じました。しかし、100%満足のいく投擲は一本もできず、もう一つ目標にしていた優勝も逃し、不完全燃焼で悔しさも残り終わってしまいました。関東大会ではより多く噛み合わせてもう一度自己ベストを更新し、今度こそ優勝して、今シーズンをいい形で締めくくりたいです。」

十月十一日（日）
○熊谷市選手権
於：熊谷

十月十二日（月）
○スポーツの日

十月十五日（木）
～十九日（月）
○国民スポーツ大会
於：青森
１６日：Ｂ３０００ｍ予選
１７日：Ｂ３０００ｍ決勝

十月十九日（月）
～二十二日（木）
○中間考査

十月二十四日（土）
～二十五日（日）
○関東選抜
於：日産スタジアム
２４日
・男１５００ｍ：予選・決勝
・男走幅跳：決勝
・男やり投げ：決勝
・女４００ｍ：予選・決勝
・女４×１００ｍＲ
：予選・決勝
・女走幅跳：決勝
２５日
・男三段跳：決勝